

今回のテーマは「情報（007類）とは」

今では当たり前のように使っている QR コードやインターネット、情報管理のためのパスワードや ID コードに疑問を持つこともない生活を送っています。そこで、今回この「情報」について少し考えを巡らせてみようと思います。



QRコードの奇跡—モノづくり集団の発想転換が革新を生んだ

小川 進 著 東洋経済新報社

QRコードというものを、ご存じですか。インターネットにつながるコードとして使われ、電子決済にも利用されています。バーコードは図書館の本のラベルや図書館カードにも使われています。バーコードが発展することで、QR コードは作られました。そのことは知っておられる方も多いと思います。物の分別をする。一つ一つは、ある目的を持ったものである。そのことを瞬時に認識させる仕組みを作る必要があって生まれたのがバーコードであり、物流の飛躍的な発展に伴い、さらに高度な自動認識の方法を考える中で生まれたのが、QRコードなのです。そのQRコードは、ある企業の社員の発想・考えの中で生まれ、世界中に認知されていきます。ところが、素晴らしい提案であるにも関わらず、特許の申請をしませんでした。そのことで、世界的な広がりを持つことになり、現在のような身近な存在になっていきます。人々の素晴らしい動きや考えに学ぶことも多いと思います。

スマホの中身も「遺品」です —デジタル相続入門

古田雄介 著 中央公論新社



携帯電話の普及が進み、今はスマートフォンが多くの人々に利用されているようです。スマートフォンは、電話、メール、ネット接続、SNS、写真や動画撮影、そしてカード決済まで利用内容は広がっています。それには個人情報を守るセキュリティの技術進歩も見逃せません。ところで、スマートフォンの所有者が不幸にも亡くなられた時に、それを引き継ぐべき立場になったら、あなたはどのようにしますか。パスワードという一歩目のセキュリティは知っていますか。個人情報であるスマートフォンの中身を知ることは、極めて困難です。銀行につながる情報には当然、暗証番号等のセキュリティが含まれます。スマートフォンに含まれる金融資産や写真などの思い出の資産をどのようにすれば引き継ぐことができるのでしょうか。それは突然起こる出来事ではありますが、これまでは想定していなかった出来事としてあなたの目の前にあらわれるかもしれません。IT 技術の進歩が続く現在にあって、知っておきたい一つの大切な情報が書かれた書籍です。